

ブラジルの金融市場動向 Weekly Report

2019年2月18日

【2019年2月9日～2019年2月15日までの推移】

【1】先週の回顧

ブラジル・レアルは、対円、対米ドルともに上昇しました。また、2年国債金利は低下しました。ボルソナロ大統領が退院し、年金改革法案の具体案が示されたことが好感視されました。

年金改革法案の具体案は①年金の最低支給年齢については男性65歳・女性62歳、②完全移行までの期間は12年、と事前予想よりも踏み込んだ内容になり好感視されました。また、歳出削減効果については明言されませんでした。10年間で1兆レアル程度になるとみられています。さらなる詳細は議会への正式提示が予定されている2月20日（現地）に明らかになる見込みです。

経済指標に関しては、12月の小売売上高や経済活動指数が発表されました。12月の小売売上高は前月・前年比とも市場予想を下回りましたが、2018年を通して見ると2017年比2.3%増と、2013年以来の高い伸び率になっています。また、経済活動指数は前月・前年比ともに市場予想を上回る伸びとなりました。

【2】今週の見通し

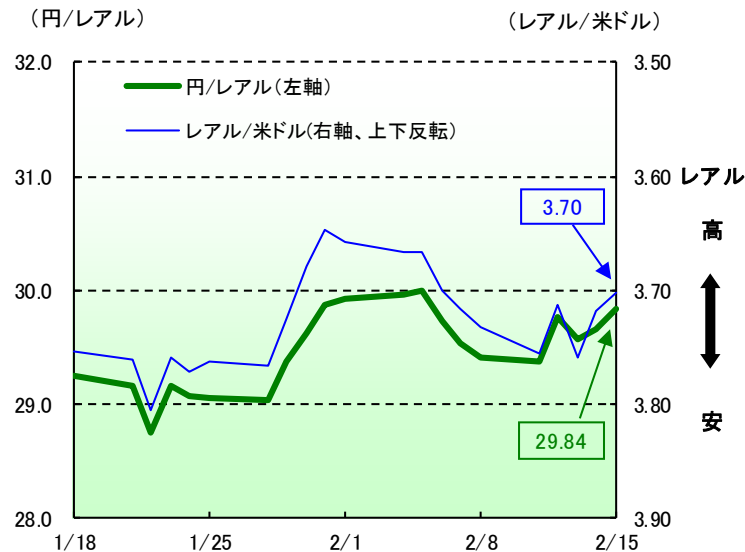
今週は、各種インフレ率などの経済指標の発表が予定されています。

先週、年金改革法案の具体案が発表されましたが、最終的な承認には、複数の委員会での承認に加え、上下両議会でそれぞれ2回の票決を通過する必要があります。仮にこれらをすべて通過すると仮定した場合、6月までに下院第1回票決を終え、年末までに最終承認を得られるとみられています。

発表された具体案を市場は好感視していますが、承認の進捗状況によっては失望感からの売りの動きも予想されるため、引き続き年金改革の行方を注視していきます。

【ブラジル・レアル 為替推移】

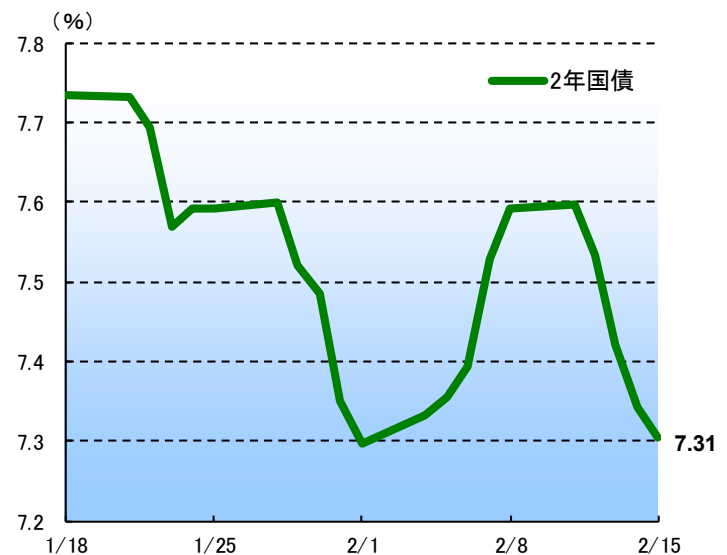
(2019年1月18日～2019年2月15日)



※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

【ブラジル 金利推移】

(2019年1月18日～2019年2月15日)



(出所:ブルームバーグより大和投資信託作成)

当資料のお取り扱いにおけるご注意

- 当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。
- 当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。
- 当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。
- 当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <https://www.daiwa-am.co.jp/>